

日ノ本学園 建学の精神・沿革

日ノ本学園は、1893年（明治26年）にアメリカ婦人バプテスト外国伝道協会のエラ・R・チャーチ女史によって姫路に開学された日ノ本女学校から始まりました。

創立以来キリスト教主義に基づいて真の愛と自由の精神を受け継いできました。

聖書に由来する「心の飾りを」を校訓とし、自ら祈り、考え、神を畏れ、人を愛し、他者に奉仕する人格の育成を教育理念としています。



<エラ・R・チャーチ女史>

1974年に短期大学が開学、1978年に短期大学付属幼稚園が開園いたしました。

2015年に幼稚園は、幼保連携型認定こども園となりました。

地域の子育て力・教育力を支え、未来を創造する子ども達に質の高い教育・保育が提供できるように取り組んでいます。

皆さまへ

このたび、姫路日ノ本短期大学付属幼稚園は新しい園舎を迎えることになりました。これは、子どもたち一人ひとりが安心して伸びやかに育つ環境を整えるための大きな一歩です。私たちは、神さまの愛の中で、子どもたちが日々成長し、たくさんの恵みに感謝しながら、心豊かに過ごせる場所づくりに取り組んでまいります。

特に、今回の園舎新築に伴い、完全自園調理を導入いたします。これまで0歳から2歳児までの自園調理を行ってまいりましたが、今後はすべての年齢の子どもたちに対し、安全で新鮮な旬の食材を用いた調理を行います。子どもたちが匂いを感じ、食事の時間を楽しみながら、「おいしいね」と笑顔を交わす姿を思い描いています。これにより、食の安全性とともに、食事を通じて神さまの恵みに感謝し、心と身体の両面で健やかに成長していくことを願っております。

また、新しい園舎と園庭の中で、子どもたちが主体的に遊び、自分の思いを自由に表現できる環境を整えてまいります。保護者の皆さまと共に、子どもたちの成長を温かく見守り、導くことができることを心より願っております。

さらに、私たちは地域子育て支援の拠点として、一人ひとりに寄り添い、大切にされていることを実感できる園を目指しています。継承と進化を大切にしながら、これからも皆さまと共に歩み続け、子どもたちの未来を照らす場所でありたいと存じます。

神さまの愛と恵みの中で、子どもたちの笑顔と成長を見守り続けてまいります。

園長 屋村真由美



幼保連携型認定こども園

姫路日ノ本短期大学付属幼稚園